

世銀防災グローバル・ファシリティ(GFDRR)第8回CG会合及び関連会合について

平成22年5月

外務省地球規模課題総括課

1 背景・経緯

- (1) GFDRR(Global Facility for Disaster Reduction and Recovery)は、2005年国連防災世界会議の成果文書である「兵庫行動枠組」の推進を支援し、災害に対して脆弱な低・中所得国を対象に防災・災害復興を図ることを目的に、2006年9月に世界銀行が設立した協力枠組み。我が国は、2007年度に同ファシリティへ6百万ドルを拠出し、ドナーとしてCG(Consultative Group)メンバーとなり、CG会合に参画してきた。
- (2) GFDRRの組織として、ドナー、招待された途上国及び関係国際機関(UNISDR, IFRC, UNDP)等で構成されるCG会合において、GFDRRの活動に対する政策・戦略的助言と意思決定を行っている。CG会合は、議長を世銀副総裁(持続可能な開発担当)、共同議長を1年交代でドナーが務め(2007年英、2008年デンマーク、2009年スウェーデン)、年1又は2回開催されている。
- (3) 防災分野における豊富な経験と知見を有する我が国は、2009年10月にストックホルムで開催された第7回CG会合において、GFDRRに対する我が国の貢献として2010年のCG会合共同議長を引き受ける旨を表明、CGメンバーの支持を得た。

2 開催概要

(1) 第8回CG会合

日時・場所: 5月17日(月)9:00から17:15 於京都ホテルオークラ

主催: GFDRR及び日本政府

参加者: CGメンバー及び招待された途上国メンバー(ハイチ、セネガル、ベトナム)

内容: GFDRRにおける活動の進捗報告及び今後の活動計画の協議

その他: CG会合後、外務省主催によるレセプションを開催予定

(2) 政策フォーラム「Sustainable Institutions and Infrastructure for Safe Communities」

日時・場所: 5月18日(火)9:00から18:00 於京都大学桂キャンパス船井哲良記念講堂

主催: 京都大学GCOE-HSE, GFDRR及びUNISDR

参加者(予定): GFDRR関係者(CGメンバー等)、途上国防災関係者、学界、企業等

内容: 災害リスクを低減するためのインフラ及び機関のあり方について議論

(3) 国際トレーニング・セミナー及び現地視察

日程・場所: 5月20日(木)から21日(金) 於静岡市内ほか

主催: 静岡県及びGFDRR

参加者(予定): 途上国防災関係者(GFDRRが招待)及びGFDRR関係者(希望者)

内容: 静岡県が取り組む防災対策の現地視察及びディスカッション

(4) その他関連会合(いずれも主催はGFDRR、場所は京都ホテルオークラ)

5月16日(日)9:00から13:00 開発金融機関(MDBs)によるラウンドテーブル(関係者のみ)

5月16日(日)15:30から18:30 RMC(Result Management Committee: 有識者委員会)会合(関係者のみ)

5月19日(水)9:30から11:30 太平洋自然災害リスク保険に関するワークショップ

[参考1]CGメンバー

豪, ベルギー, ブラジル, 加, デンマーク, フィンランド, 仏, 独, 印, アイルランド, 伊, 日, ルクセンブルグ, 蘭, ノルウェー, スペイン, スウェーデン, スイス, トルコ, 英, 米, ACP, EC, UNISDR, RMC 議長(AUC)。オブザーバーとして IFRC, UNDP。

[参考2]政策フォーラムにおける京都大学 GCOE-HSE の協力

今次会合の開催にあたっては、GFDRRの有識者委員会であるRMC議長を2010年1月まで務めた竹内佐和子京都大学教授(元外務省参与・大使)を中心に、政策フォーラムの開催準備が進められてきた。京都大学では、21世紀グローバルCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」(Global Center of Excellence-Human Security Engineering: GCOE-HSE)において「災害リスク管理」を研究領域の一つとして組み込み、国際的に卓越した研究拠点の構築に取り組んでいる。本フォーラムでは、同GCOEの研究成果を基にGFDRR活動への知的貢献及びGFDRRとの今後の連携を推進する場として本会合を位置づけている。

(了)